



ぶらっと鉄道の旅

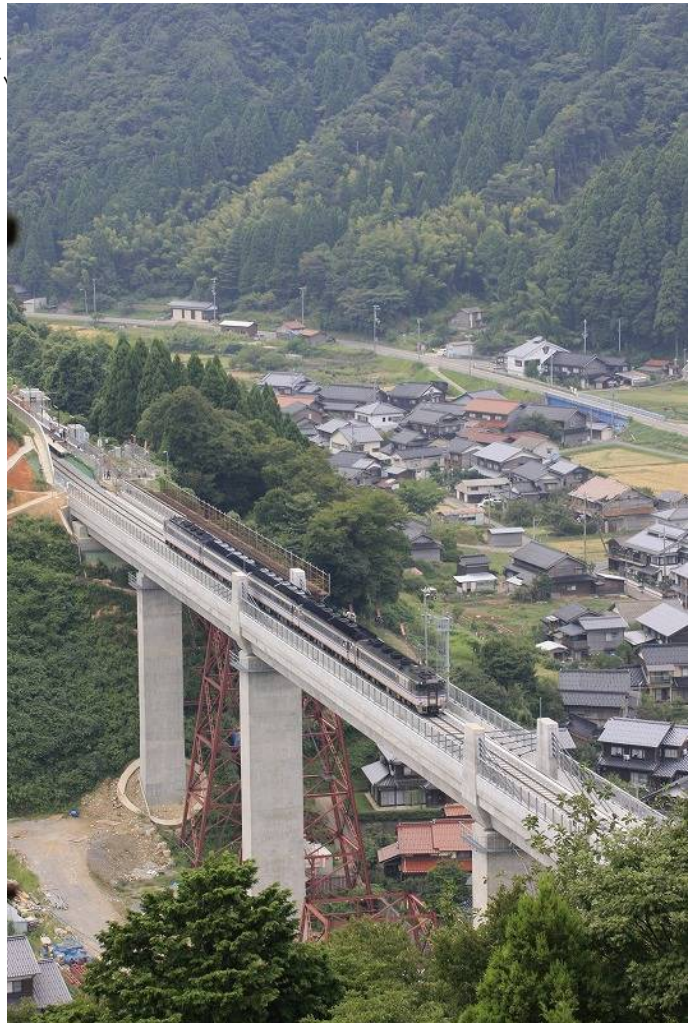
い。窓側がいい。乗降口が近い方がいいなど、希望の位置を伝えてみましょう。

時間はいくらかかって、青春18きっぷがおすすめてです。普通・快速列車に乗り放題になるきっぷで、ちょっとした遠出には最適です。利用にはちょっとした条件があるので、駅で確認してからの購入をお勧めします。

パート3: 旅のともを手に入れる列車に乗ったら寝るといのもおすすめてですが、それではさすがに味気ないので、何か旅のともになるものを用意しておきましょう。おすすめては駅弁と小説です。駅弁は、キヨスクのおばさまにおすすめのものを聞いてみましょう。小説は、鉄道ミステリーや紀行はいいかがでしょうか。私としては西村京太郎がおすすめてです。

パート4: 旅に出るきっぷを買ったら旅に出るまでどきどきしながら待ちます。予定の日が来たらさあ出発です。カメラを持ってたくさん写真を撮るもよし、列車内で地元の方と語らうもよし、ガタゴトと揺られながら寝るもよし、旅のともと格闘するもよし。楽しみ方は人それぞれ、正解はありません。

パート5: みんなに自慢する旅から帰ったら、家族に知人に友人にたっぷり自慢し



ましよう。あその景色は凄かった。あの駅は古かった。などなど自慢のタネはたくさんあるはず。その自慢を聞いた人は、きっと旅に出たくなっているはず。今度はその人を連れて旅に行ってみてください。いい思い出がきっと増えるはずです。

こんな感じで鉄道旅には何にも難しいことはありません。一人でも家族でも、友人とでも、是非、鉄道旅に出かけてみませんか？

もう8月、そろそろ夏休みという方も多いと思います。夏休みの計画は立っていますか？「えー、まだー」という方、家でのんびりするのでもいいですが、ちょっとした鉄道旅に出かけてみませんか？

パート1:

時刻表ぴらぴら
まず、心をまっさらにして時刻表をめぐってみます。時刻表なんて無いという方は書店にGO。大きい時刻表でも1000円ちょっとで買えますので、是非、小さいコンパクトタイプでもいいですが、慣れないと見にくいのであまりお勧めできません。

パート2:

きっぷを買う
目的地が決まったら駅にいったきっぷを買きましょう。「どの列車に乗ればいいの？」という方は窓口の係員に「どこからどこまで、どこどこを何時に出、どこどこに何時くらいに着きたい」という事を伝えてみてください。係員はきっぷ確保のプロフェッショナル、きっと最適な答えをしてくれるはず。ここで、ポイントがひとつ。指定席券を頼む場合は、あなたの希望をある程度かなえることができます。トイレの近くがい

